

第一の残したものの

日本の企業は、よく「家族」に例えられます。終身雇用など、米国型の利益至上主義とは一線を画すものです。その根底には、日本企業が「富は全体で共有し社会に還元するもの」という思想があるからです。それは、日本の近代経済社会を作り上げた人物の思想が色濃く残されているからにほかなりません。

かつて「道徳経済合一説」を唱え、実践した実業家で社会事業家がありました。ご存じの通り、現在の深谷市の生まれで明治6年に第一国立銀行総監役に就任し、わが国近代経済の生みの親となった沢沢栄一翁です。

日本の大変革時代である幕末から昭和初期、先駆者として数々の難題に挑戦し、また、社会福祉事



▲栄一翁を取り扱った書籍は数多く出版されている(沢沢史料館ミュージアムショップ)

業の礎を築いた沢沢栄一翁。栄一翁が、生涯を通じて貫いた経営哲学とは何か。それは「利潤と道徳を調和させる」という、経済人がなすべき道を示した『論語と算盤』に集約されます。「事柄に対し如何にせば道理



「予告編」

にならうかをまず考え、しかしてその道理にならうたやり方をすれば国家社会の利益となるかを考え、さらにかくすれば自己のためにもなるかと考える。そう考えてみたとき、もしそれが自己のためにはならぬが、道理にもかない、国家社会をも利益するということなら、余は断然自己を捨てて、道理のあるところに従うつもりである。」

経済人はかりでなく、すべての日本人が帰るべき原点です。歴史は過去を振り返るだけのものではなく、未来を見詰める指針ともなるものです。

「広報ふかや」では、来月号から約2年間にわたり、栄一翁の生涯を見詰め直します。どうぞご期待ください。

物語の手引き

『論語と算盤』ってなあに？
『論語と算盤』は、沢沢栄一翁の著書で、大正5年に出版されています。『論語』というのは、孔子の言行の中から、特に生活に触れた教訓ばかりを弟子たちが集め、書物にしたものです。一言一句がすべて実際の日常生活に

用が利き、読めばすぐに実行できるような基本の道理を説いています。また、これに対し『算盤』は、経済活動を表しています。利潤を追求する算盤と人の道徳を説く論語。この一見不釣り合いなものが、実は両立するものであり、利潤を求める経済の中にも道徳が必要であると考えた栄一翁の思いが詰まった1冊です。

キラリ熱・中・時・間



小林伸治会長

～武州煮ほうとう研究会～

今年の1月30日、和光市で開催された「ニッポン全国鍋合戦」で、武州煮ほうとう研究会(通称「煮ほう研」)が、全国から集結した鍋自慢43団体の頂点に輝きました。

煮ほう研は、5年連続の出場で、過去の成績は準優勝3回、3位1回。優勝にあと一歩及ばず、悔し涙を流してきました。今回、悲願の初優勝を手に入れた裏側には、秘策があったのだそう。

煮ほう研の煮ほうとうは、地元野菜をふんだんに使った醤油ベース。洗練し過ぎず、田舎の荒っぽさを醍醐味にしています。今回、この中にほんの少し大吟醸の酒粕を加え、大胆さを残しつつまろやかさを出すことに成功しました。

「煮ほうとうは決してB級ではありません。鍋という大分野で全国優勝できる実力を示せてうれしい」と会長の小林さんは話していました。

煮ほう研が生まれたのは、平成15年。ラジオの生放送で深谷を訪れ

全国一の鍋奉行に輝く

ていた毒蝮三太夫さんの「おれも煮ほうとうを応援するから頑張れ」と言う一言に小林さんが一念発起。10人ほどでスタートしました。現在では、総勢50人に増え、その顔触れは、会社員・商店主・主婦などさまざまです。イベントやロケなどで腕を振るい、煮ほうとうのおいしさを全国に発信しています。

次の目標は、煮ほうとうを市民の皆さんの生活により浸透させること。特に若い世代に広がることを目指しています。



▲武州煮ほうとう研究会の皆さん(平成22年9月1日熊野大社社にて)

夫婦道のススメ



市内でブティックを営む森田さん夫妻は、ご結婚63年目。若い時は、忙しくてけんかをする暇もなかったと話す茂子さんは、従業員を束ねながら、自らも必死で縫製の仕事をこなした当時を振り返ります。市議会議員の活動など、地域のために尽くし、外に出ることが多かった二三男さんは、家業を支えてくれた奥さんのことを、最高の妻だと話してくれました。夫婦円満の秘訣は、お互いを理解し、信頼することだそうです。

信頼で築いた62年

森田二三男さん(90歳) 茂子さん(86歳)

ありがとうの手紙



最優秀賞
小学校高学年の部
大好きなお母さんへ

八基小学校5年(現6年) 齋藤 未来さん
お母さん、この前は私に手紙をありがとう。
道徳の時間に読んでお母さんが私を大切に思ってくれている心が強く伝わって来て、先生や友達がいたけど涙が出たよ。お腹にいた小さい命のときから私はお母さんに「大好きよ」と言って育ててもらってきたんだね。私もだよ。お腹の中にいた時からずっとお母さんが大好き。今日わかったよ。「ありがとう」って大好きっていう意味なんだね。
『私のママになってくれて、本当にありがとう。』